

令和4年8月1日に思う

また一步、大きな課題に向かって踏み出しました。

「源流を保全し、あらゆる地域資源を利活用して村と住民が力を合わせ、地域経済に繋げよう」とする、かわかみ源流ツーリズムの活動拠点施設が先月の18日「海の日」にオープンしました。この日は、奈良県が定めた「山の日、川の日」でもあり、この節目に同施設が開業出来たこと、感慨深いものがあります。ましてや今年は「森と水の源流館」がオープンして20周年。期待が膨らむのも当然のことです。

さらに、同施設にはもう一つ大事な使命があります。移住定住事業・川上ing作戦の相談窓口業務であります。「訪れた方々に、村の魅力を親切丁寧に伝えてもらいたい」ものです。

この施設が、源流を愛する人たちの心を寄せ、村のすべてを情報発信する基地の役割を果たすとともに、川上宣言にある「子どもたちが、自然の生命の躍動にすなおに感動できる場をつくること、自然とのつきあいが、地球環境に対する人類の働きかけのすばらしい見本になるよう努めること」を強く願っています。

施設がにぎわいを見せ、多くの方々が行き交い、情報・経済とも大いに活気づくことを望むばかりです。

今回の施設整備に際し、商工会の皆さまに多大なご理解ご協力をいただきましたこと、あらためて深く感謝申し上げます。

引き続き、村民皆さまのご支援ご協力をよろしく申し上げます。